

学校経営方針

学校教育目標

自分の夢に挑戦し，仲間と共に高め合い，
よりよく生きようとする子どもの育成

目指す子ども像

なりたい自分に向かう子ども（自己実現）

仲間を大切にする子ども（人間関係形成）

集団での役割を果たす子ども（社会参画）

育てたい力

自己有用感や自己肯定感等を高め，自分のよさや可能性を生かそうとする力を育てる。

自他の違いや相手のよさを認め，思いやりを大切にして行動する力を育てる。

自分の役割や責任を果たしたり，集団で協力して解決したりする力を育てる。

きまりや約束の意味を考え，正しく判断して行動する力を育てる。

かけがえのない自他のいのちを大切にする力を育てる。

1 学校教育目標の具現化に向けての取組

(1) 児童の学びに向かう力を高める授業づくり，家庭学習づくりの推進

◎帯タイムや放課後の時間を活用して，基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにし，すべての児童に学習基盤の確立を図る。

◎主体的・対話的な学びを重視し，児童が各教科等で習得した「見方・考え方」を働かせて「深い学び」に向かう授業を通して，「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感できるようにするなど，授業の質を高める。

◎学年の段階を踏まえた家庭学習の仕方を示し，自学自習の力を育てる家庭学習の充実を図る。

(2) 一人一人を徹底的に大切にされる存在に育てる人権教育の充実

◎人権尊重の基盤となる信頼関係を構築し，よりよい人間関係を形成する集団活動を推進する。

◎児童の将来を見据え，すべての児童の自己実現につながる取組の充実を図る。

(3) 成長を促す指導，予防的な指導，課題解決的な指導の充実を図る生徒指導の推進

◎一人一人の子どもを大切にし，子ども理解を基盤にした指導の充実を図る。

◎子どもの居場所づくり，子ども同士の絆づくりを推進し，いじめや不登校の防止に努める。

- (4) 多様な他者と協働し、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組む特別活動の充実
- ◎自己実現，人間関係形成，社会参画の視点で，特別活動において育てる資質・能力のうち，「思考力，判断力，実践力」に重点をおいて育成する。
 - ◎自己や集団のよさ，可能性を実感できるような活動を意図的に仕組み，「学びに向かう力，人間性等」を醸成する「空気」をつくる。
 - ◎総合的な学習の時間や行政機関等の学校支援の取組を効果的に組み合わせたり，地域やPTAとの連携・協働を図ったりして，「社会に開かれた教育課程」の編成に努める。
- (5) 児童の実態に応じて内容の重点化を図った道徳教育の充実
- ◎実践を通して学ぶ特別活動や体験を通して学ぶ総合的な学習の時間と，心を育てる道徳科を関連させる取組の工夫と充実を図る。
 - ◎多様な実践活動や体験活動を生かして，道徳的価値の理解を深めたり態度化したりする。その中でも，重点化した道徳的価値については「心の色」を効果的に活用し，自らの道徳性と向き合うことができるようにする。
- (6) 健康な心身と安全な生活をつくる健康・安全教育の充実
- ◎遊びや運動及び望ましい生活習慣の実践を通して，明るく生き生きと生活できる力の育成を図る。
 - ◎飲酒や喫煙，薬物乱用等の有害性についての正しい知識と危険な行為から自らを守る方法などについて，子どもの発達の段階に応じた指導の充実を図る。
 - ◎食物アレルギー等に適切に対応したり，薬物乱用防止教育や安全・防災教育の充実に努めたりして，児童の学校生活を安心安全なものにする。
- (7) 児童が明るく生き生きと生活できる教育環境整備の推進
- ◎教育力のある空気をつくるために校舎内外の環境美化を推進する。
 - ◎学びのユニバーサルデザイン化を図るための環境整備を推進する。

2 その他の重点的な取組

- (1) 「つばさ園」「ももの木学園」との連携を図る取組
- ◎「つばさ・ももの木」連絡会や学習相談の充実を図り，情報共有を確実にすることで，当該児童の「将来への夢や希望」「生きる力」の醸成を意識した教育活動を確かなものとする。
- (2) 児童一人一人の教育的ニーズに応じた組織的な取組
- ◎教務部と学年・学級との協力指導体制を工夫し，子どもや保護者の様々な課題を担当が一人で抱え込まないように留意する。
 - ◎家庭や関係機関と連携し，子どもや保護者の様々な困りに対応する支援のあり方を工夫する。
- (3) 地域力を生かす学校運営協議会の取組等の推進
- (4) 小中一貫・小小連携の取組（檜原中学校・檜原小学校・松陽小学校）の推進